



新幹線八戸駅開業1周年記念

八戸市女性模擬議会

問い合わせ 市民連携課【☎内線 629】

10月24日(金)午後1時30分から市庁本館3階議場において、新幹線開業1周年を記念して女性模擬議会を開催しました。
 女性による模擬議会は、平成12年以來2度めとなります。
 これは、女性の政治への関心を高めるとともに、市政への意見を女性から直接寄せていただくために開催したもので、当日は、31人の女性議員から選ばれた10人が代表質問に立ち、市政に関する質問や提言を述べ、それらについて市長らが市側の見解を示しました。
 終わりに中村市長は、「指摘されたものはどれも現在の市が抱えている課題であり、今後の市政の参考にしたい。」と述べました。

代表質問の概要

■鹿糠正巳 議員

質問 男女平等教育を目指す教育方法について伺いたい。

答弁

男女平等観に立った教育活動の推進を図るため、性別や性差による固定的な役割分担や意識をなくし、その子らしさとしての個性や能力を十分に発揮させる教育を目指している。

■宮田恵美子 議員

質問 子どもの活動の場として、学校の空き教室を開放することを市の方針として推進できないか。

答弁

学校施設開放事業や学校施設目的外使用を実施しているが、学校の施設の状態や管理形態がさまざまである。

消費者行政を展開し、県や警察などの関係機関との連携も図っている。
 これらにより、消費者の利益は確保できていると考えているが、今後の国の動向や消費者をとりまく環境の変化等を見極めながら当市の条例制定について研究したい。

■楢山礼子 議員

質問 旧市民病院跡地に、祭りや伝統芸能等の常設展示・体験施設を造る考えはないか。

答弁

ご指摘の場所は県立芸術パークの適地として県に要望している。
 しかし、市民と観光客が楽しくつろげる空間や祭り・伝統芸能の常設展示・体験施設を創設することは大いに効果があると考えている。地場産業振興センターに展示している八戸三社大祭の山車展示に手を加えることによって、より思い出深い体験ができるよう研究したい。

■高橋美津枝 議員

質問 介護者が利用しやすく、孤立しないような介護者支援を伺いたい。

答弁

八戸市基幹型在宅介護支援センターを中心に地域型在宅介護支援センターや介護支援専門員らの連携により、高齢者のための総合的な支援

り、一概に統一することは現在難しいので、関係機関と協議して研究したい。

■伊藤玲子 議員

質問 柏崎小学校周辺のような道路と歩道の整備をほかの学校周辺でも実施する予定があるか。

答弁

国土交通省の「コミュニティゾーン形成事業」として採択された事業であり、申請した他9地区についても順次整備したい。

■清野克美 議員

質問 業務の山積する民生委員の活動について見解を伺いたい。

答弁

生活保護の申請手続きの指導や高齢者世帯の訪問、健康・保健医療、子どもの教育・学校生活の相談援助等多岐にわたっている。
 委員は社会奉仕の精神に基づき、地域の実情に応じて適切に対応しており、今後とも活動が円滑に進められるよう、業務の簡素化について検討したい。

■高橋薫 議員

質問 生ごみの堆肥化推進について伺いたい。

生活保護の申請手続きの指導や高齢者世帯の訪問、健康・保健医療、子どもの教育・学校生活の相談援助等多岐にわたっている。
 委員は社会奉仕の精神に基づき、地域の実情に応じて適切に対応しており、今後とも活動が円滑に進められるよう、業務の簡素化について検討したい。

■赤坂美千子 議員

質問 合併による議員報酬・職員の人件費について伺いたい。

答弁

合併後の在任特例期間の議員報酬については、財政の健全運営の観点から、同一にしない「1市2制度」を合併協議会で主張している。
 また、職員の人件費については、最近5年間で八戸市だけで208人削減したところである。

答弁

生ごみを分別収集し、堆肥化施設で処理しているのは比較的人口規模が小さい自治体が多く、八戸市レベルでは実情では困難である。
 当面は生ごみの減量と排出抑制を図るため、コンポストや電動式生ごみ処理機の普及拡大を図っていききたい。

■於本晴美 議員

質問 平成17年に策定されるごみ処理基本計画に向けての見解を伺いたい。

答弁

あおりエコタウンプランとしての国の承認を受けたリサイクル事業をスタートさせ、また企業・行政・大学等による八戸地域エコタウンリサイクル推進協議会も発足し、産学官の協働体制が構築された。
 これらをもとに、リデュース(発生源抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再資源化)の「3R運動」やゼロエミッション(※)の考えを念頭においた計画を策定したい。

■坂本久美子 議員

質問 市独自の消費生活に関する条例を制定する考えはないか伺いたい。

答弁

現在、市では、国の消費者保護法並びに県の消費生活条例に基づいて

合併後も住民サービスの低下を招かないよう配慮しながら、簡素で合理的な組織を目指すことが必要だと考えている。



質問に答える中村市長

議員名簿

子美子	恵美子	田本	久保	子香	充静	倉村	小山
美子	直陽	藤山	於坂	ヨ子	ミツ悦	林條	小西
子枝	礼美	山橋	工佐	巳美	正恵	糠田	◎鹿
千子	美千子	坂美	◎高	さ子	悦直	村河	◎宮
子圭	育圭	木井	◎赤	子子	子直	中竹	◎中
子靖	子伊	井山	◎杉	美子	玲美	藤野	◎伊
				子子	順子	頭葉	◎清
				子子	マキ子	橋村	◎高
				子子	京恵	間本	◎高
				子子	陽あ	井井	◎高
				子子	子子	藤井	◎高
				子子	子子	柳沢	◎高

(注)

議員番号順

◎は代表質問者

◆は議長